

「2020年・そして、その先を見据えて」

～障がい者スポーツからみんなのスポーツへ～

1. 目的 障がい者スポーツ指導者が、研修において様々な情報を得ることにより、地域での活動や指導に伴う不安を解消し、今後の活動に対する意欲を高めると共に、指導者の資質向上につなげることを目的とする。
2. 主催 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
3. 後援 北海道 北海道教育委員会 旭川市 旭川市教育委員会 北海道新聞
4. 協力 公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会、北海道障害者スポーツ指導者協議会
旭川パラスポーツ協議会（6団体）
（旭川医科大学スポーツ医科学研究委員会、道北地区障害者スポーツ指導者協議会、旭川市障害者スポーツ協会、旭川障がい者文化・スポーツ振興支援会、カムイ大雪バリアフリーツアアセンター、SO日本・北海道旭川プログラム）
5. 主管 第15回障がい者スポーツ指導者全国研修会実行委員会
6. 会場 旭川医科大学 〒078-8515 北海道旭川市緑が丘東2条1-1-1
<http://www.asahikawa-med.ac.jp/>
※JR旭川駅 旭川空港より バス・タクシー利用
※有料駐車場有 旭川医大病院との共用駐車場
7. 日程
- | | | |
|--------------|--|-----------------|
| 令和2年2月15日（土） | | |
| 受付 | | 11:15～ |
| 開講式 | | 12:00～12:30 |
| シンポジウム | | 12:45～14:15 |
| 分科会 | | 14:30～17:30 |
| 交流会 | | 18:00～20:00 |
| 令和2年2月16日（日） | | |
| 分科会 | | 10:00～13:00 |
| 散会 | | 13:15 分科会終了後、閉講 |

※2月15日・2月16日の各分科会では「同じ内容」をそれぞれ実施いたします。

2日間で2つの分科会への参加が可能です。

8. 内容

[シンポジウム 2/15 12:45～14:15]

テーマ： 2020 その先を見据えて～障がい者スポーツからみんなのスポーツへ～

年齢や障がいの有無に関わらず「多様なニーズ」に対応するために「多様な関係者」が連携して地域にアダプテッドスポーツを広げていこう。

座長：植田 敏郎（障がい者スポーツ指導者協議会 研修部会長）

シンポジスト：安井 友康 氏（北海道教育大学 札幌校）

～インクルージョンの視点から障がい者スポーツを考える～

今野 征大 氏（旭川パラスポーツ協議会代表・道北地区指導者協議会代表・旭川盲学校）

～旭川（北海道）における取り組みからスポーツがもたらす共生社会の実現にむけて～

山口 幸彦 氏（障がい者スポーツ指導者協議会運営委員長）

～指導員の現状と取り組み・2020後に向けて～

分科会 テーマ / 研修内容

第1分科会「スポーツ場面における発達障がいのある子どもの特性と支援方法について」

講師： 澤江 幸則 氏（筑波大学 体育系）

発達障がいのある子どもたちのなかには、スポーツ・運動場面において、「分らなさ」と「できなさ」を感じ、結果的に「やりたくない」と感じているケースがあります。そこで、ひとりでも多くの子どもたちがスポーツや運動を身近に感じてもらうため、子どもたちの気持ちに寄り添いながら、支援方法についての視点を共有していきたいと思えます。そのなかで障がい特性に応じた具体的な工夫についてディスカッションしていきたいと思えます。

第2分科会「健康寿命延伸と運動器疾患対策（腰痛）」

講師： 佐竹 恵治 氏（一般財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団）

超高齢社会を迎えるにあたり、健康寿命を延伸することが最大の関心事になっています。本分科会では、健康寿命の定義を生活機能の側面から解説するとともに、健康寿命を阻害する要因であるフレイルとサルコペニアについての理解を深めます。また、高齢者に多い運動器疾患の非特異的腰痛について解説し、その具体的方法（運動）である体幹中層部のトレーニングを中心に実践します。

第3分科会「コーチングに役立つメンタルトレーニング」

講師： 橋口 泰一 氏（日本大学 松戸歯学部）

競技力向上には「心・技・体」のバランスが必要だと言われますが、「こころ」について指導場面で難しさを感じる部分もあると思えます。本分科会では、「メンタルトレーニングってなに？」「コーチングに活かすには？」といった基本から確認し学びます。また、指導場面での心理的な課題や、競技者がパフォーマンスを発揮するために必要な心理的スキルやサポートについて、グループワークや体験を通して進めていきます。

第4分科会「リスクマネジメント～障がい者スポーツ指導者が持ち合わせておくべきこと～」

講師： 増田 和茂 氏（公益財団法人 兵庫県障害者スポーツ協会）

私たち指導者の責任も増してきている中、指導の際、重要なことの一つに「リスクマネジメント」の観点があります。本分科会では、障がいがある人が「安全・安心にスポーツを取り組める」ために必要なことは何か？リスクマネジメントの定義から管理・運用までを広義的に学びます。また今後益々、増えていくことが予想される「障がい者と健常者が共に同じ空間でスポーツ活動を行う」際の留意点について、コーディネートする立場からお話いただきます。

第5分科会「障がいの有無にかかわらず楽しめるスポレク「バルシューレ」」

講師： 奥田 知靖 氏（北海道教育大学 岩見沢校）

※実技を含みます

「バルシューレ」をご存知でしょうか？ドイツ語で「ボール教室」を意味し、世界10か国で取り入れられています。日本でも「スポーツクラブの練習」、「幼児教育の現場」や「学童での活動」で徐々に取り入れられつつあるこの「バルシューレ」。本分科会では、「バルシューレ」の日本における第一人者でもある奥田知靖先生による講義と理論に基づいた実技を通して勉強していただきます。

第6分科会「北海道ブロックからの発信～シットスキー体験～」

講師： 泉谷 昌洋 氏（NPO法人 日本障害者スキー連盟）

※実技を含みます

旭川で取り組むローラーシットスキーを紹介します。夏でも冬でも、屋内・屋外どこでもできる楽しいスポーツです。また、ローラーシットスキーの歴史や機能、旭川やNPO法人日本障害者スキー連盟の取り組みについて紹介します。

実技では、外に出て雪の上でシットスキーを体験、また、室内ではローラーシットスキーに体験してもらいます。シットスキーとローラーシットスキーの相似点や特徴なども理解していただけるような内容です。

ぜひ、旭川ならではのスポーツを体験してみませんか。

※防寒着などのウェアについては、ご相談にのります。別途案内いたします。

9. 参加対象者 および 参加費

区 分	対 象 者	金 額
①	障がい者スポーツ指導員(初・中・上級)、障がい者スポーツコーチ 障がい者スポーツトレーナー、障がい者スポーツ医	3,000 円
②	資格取得認定校関係者	3,000 円
③	資格取得認定校在学学生	2,000 円
④	その他	4,000 円

※区分①は 2019 年度の登録が完了している方です。未更新の方は、登録完了後にお申込ください。

10. 申込方法

○1. 申込期間内に、2. **申込書の送付**と、3. **参加費の入金**についてお手続きください。

1. 申込期間

令和元年12月10日(金) ~ 令和2年1月20日(月)

2. 申込書の送付

○所定の申込書に必要事項を記入し、以下の送付先まで**郵送・FAX**または**メール**にてお申込みください。

○申込書は、日本障がい者スポーツ協会のホームページよりダウンロードできます。

(https://www.jsad.or.jp/leader/leader_workshop_skill-up.html)

申込書の送付先

〒078-8368 旭川市東旭川町旭正 315 番地 2

カムイ大雪バリアフリーツアースセンター内

北海道障害者スポーツ指導者協議会道北事務局

TEL 0166-38-8200 FAX 0166-38-8211 E-mail nhcsid@kamui-daisetsu.org

3. 参加費の入金

○申込書の送付とあわせて、以下の郵便振替口座（ゆうちょ銀行）へのご入金をお願いします。

○金額は参加者により異なります。**9. 参加対象者 および 参加費**をご参照ください。

参加費の入金先

◎ゆうちょ銀行

【記号】19710 【番号】16679691 (※8桁)

【加入者名】ドウホクシドウキョウケンシュウブカイ

◎他金融機関から

【店名】九七八(キュウナナハチ) 【店番】978

【預金種目】普通預金 【口座番号】1667969 (※7桁)

※必ず、研修会へ申込みされる方の名義で、ご入金をお願いします。

※入金に伴う手数料等については負担いただきますよう、ご了承願います。

11. 参加決定

○**申込書の送付および参加費の入金**をもって、研修会の参加が決定となります。

○申込手続きが確認できた方へ、申込期間終了後に研修会の詳細案内を送付いたします。

12. キャンセル

○キャンセルの場合は、**2月7日(金)**までに下記お問い合わせ先まで必ずご連絡ください。

○ご入金された参加費は、**返金いたしません**ので予めご了承ください。

13. 交流会

○「厳寒の旭川で温かいふれ合い」をテーマに参加者の絆を深める交流会を開催いたします。

開催日時：2月15日（土） 18:00～20:00（予定）

場 所：旭川医科大学 福利施設等1階「食堂」

会 費：5,000円

※参加希望の方は、研修会参加費と合わせて交流会費をご入金ください。

例) 区分①の方・・・3,000円（研修会参加費）+5,000円（交流会費）=8,000円を入金
上記内容を確認のうえ、申込書の該当欄にて参加の有無をご回答ください。

14. 報告書

○本研修会の内容をまとめた報告書を作成いたします（完成・お届け予定、令和2年4月頃）。

○希望される方は、研修会当日にお申し込みを受け付けます（2,000円/1冊）。

15. キッズルーム

○会場内にキッズルーム(有料)を設置いたします。

○普通食の摂れる未就学児および小学生が対象となります。

○託児を希望される方は、申込書の該当欄にご記入ください（お子様1人につき500円(予定)）。

○詳細については、希望された方にのみご連絡いたします。

16. その他

○研修会期間中において、記録・報告用の写真を担当者が撮影いたします。予めご了承ください。

○本研修会は、障がい者スポーツ医の資格更新条件の指定研修会となります。

○本研修会は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の研修実績となります。

（ただし、日本スポーツ協会と日本障がい者スポーツ協会両方の資格所持者対象）

※詳細は日本スポーツ協会HP等を確認下さい。

【情報案内】

○全国研修会北海道大会特設 facebook ページを用意しました。

当日に向けて様々な情報を掲載していきます。

※下のQRコードよりアクセスできます。



【問い合わせ】

○ご不明な点がございましたら、以下の問い合わせ先までご連絡をお願いします。

○公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 スポーツ推進部 小塩・富永

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-13-6 ユニゾ水天宮ビル3F

TEL : 03-5695-5420 FAX : 03-5641-1213 E-mail : koshu-entry@jsad.or.jp

※研修会全体に関する問い合わせ先です。申込先ではありませんのでご注意ください。